

- **長崎県環境保健研究センター**が、令和2～4年にかけて県内を7地域(**長崎、佐世保、県央、県北、壱岐・対馬、五島列島、島原**)に分けて地域ごとに分析を実施し、その結果について普及啓発資料として作成・公表。
- 特にリスクが高いとされた**島原地区**については別途**詳細版**を作成・公表。
- 島原地域の高齢者を対象とした出前講座や主催又は出展イベントで配布。県民に対する普及・啓発に活用。

1

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

環境部局

事例12. 長崎県(2) ～あなたの地域の熱中症事情～

詳細版
(島原地域)



▲県内で比較的暑く、熱中症リスクが高いとされる島原市、南島原市にて一般住民を対象とした講演を実施。

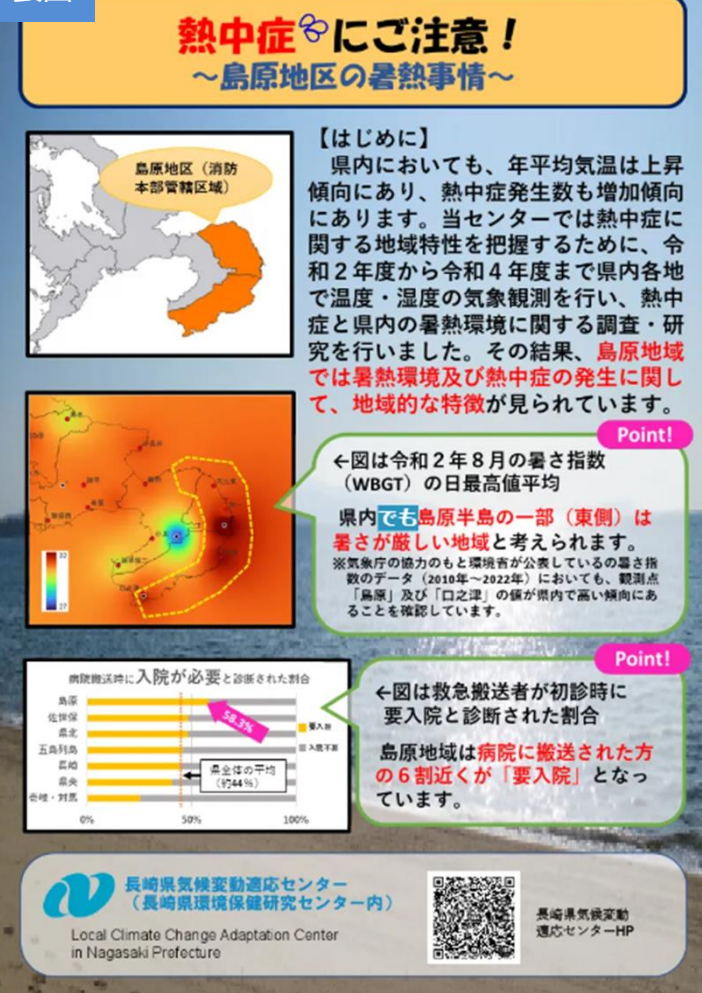
写真は「あかね会」(ひとり暮らし高齢者食事会(島原市))での講演の様子。

この他、市広報紙に研究成果に基づく啓発記事も掲載。

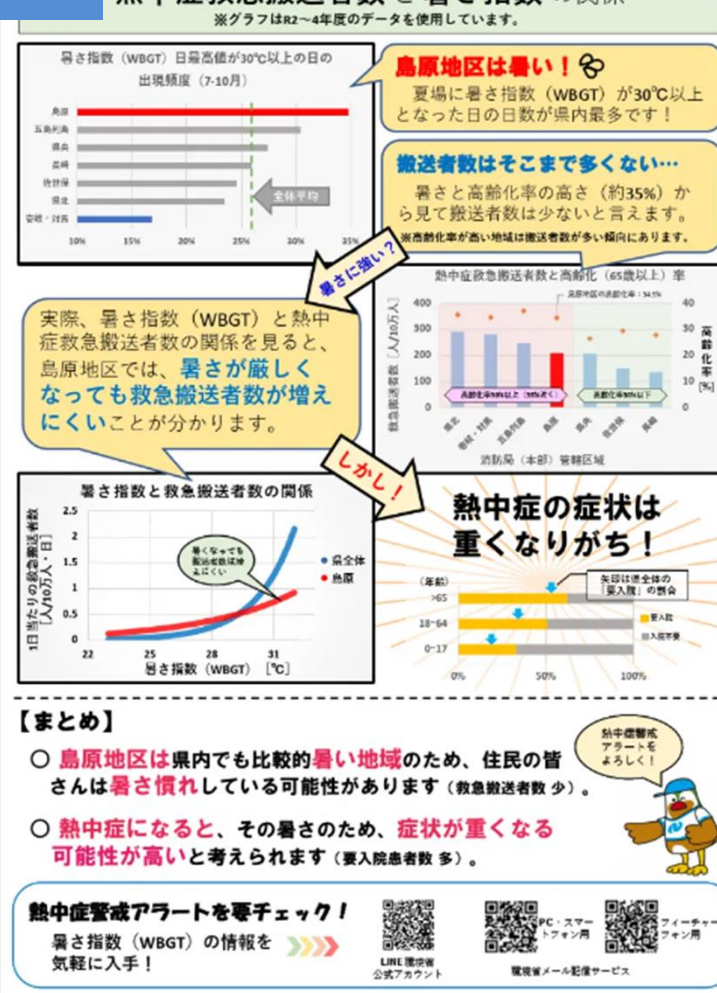
長崎県ホームページ

<https://www.pref.nagasaki.lg.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/1717728065-3.pdf>

表面



裏面



■ 苦労した点

県内の暑さ指数調査のために、最大70地点(小学校)に温度・湿度を記録するデータロガーを設置したため、各種調整やデータの回収、整理、分析に苦労しました。

■ 工夫した点

県民に「自分事」と捉えていただくために、県下全域ではなく、地域別(7地域)の啓発資料として作成しました。